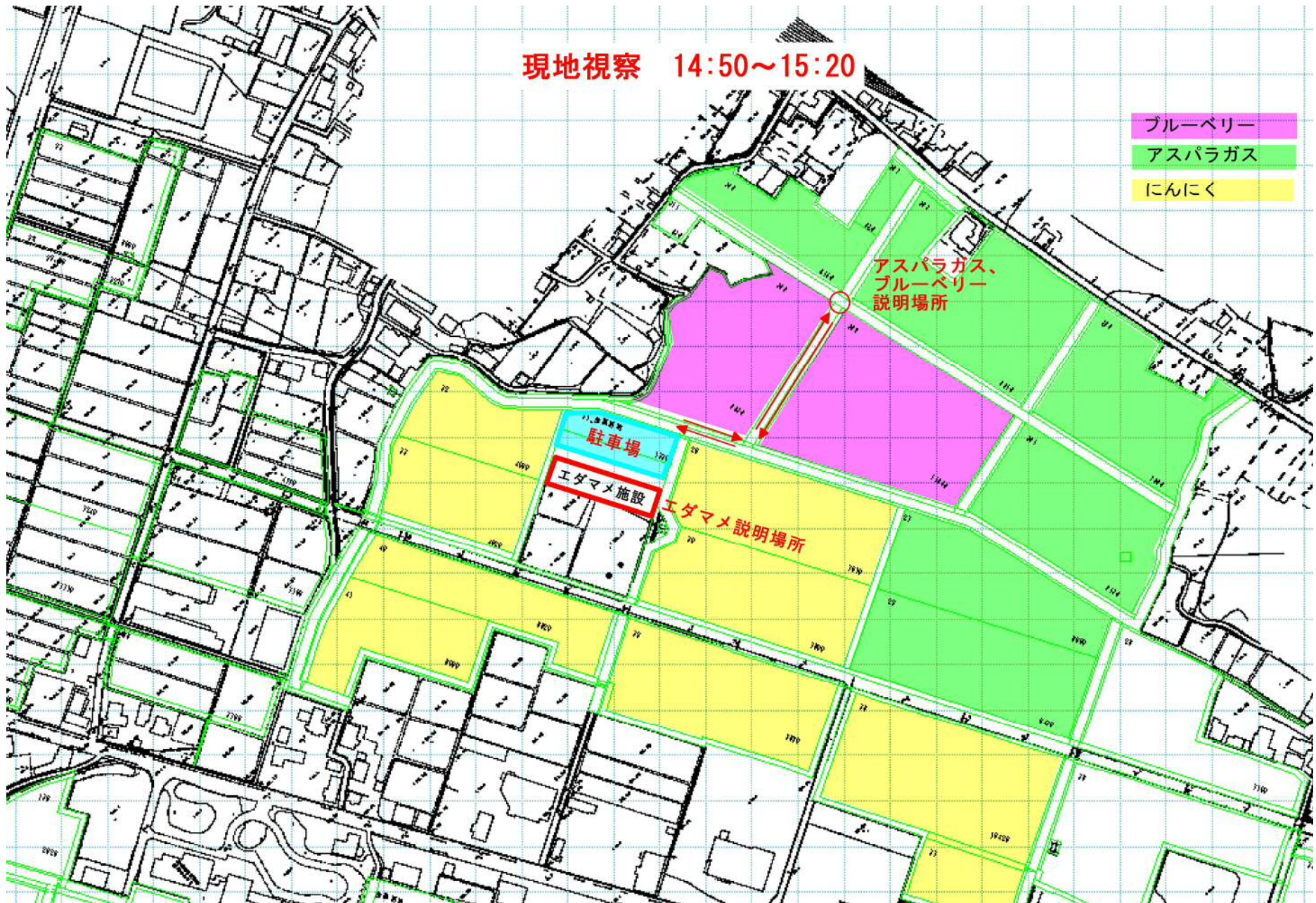


# 現地視察資料

⑤

現地視察 14:50~15:20



# ～上川沿を畑作物の一大拠点へ～

地域営農実践

## 農地集積加速化基盤整備事業 上川沿地区(大館市山館ほか)

### 事業概要

- ①受益面積 A=227.1ha
- ②関係農家 303戸
- ③総事業費 3,935百万円(採択時)
- ④営農構想
  - 1 農業法人 平成27年3月設立
    - (1) (農)山館ファーム 58.3ha
    - えつりファーム(株) 62.3ha
    - (農)池内ファーム 43.9ha
    - (農)ファーム小館花60.5ha
  - ⑤農地集積率 現況36.7%→現在99.0%

### 集積状況図

#### 経営形態現況図

事業実施前 86.4ha36.7%



#### 経営形態計画図

事業実施前 225ha, 99%



### 営農構想時(採択前)

#### ①新たな法人を核とした農地の集積

○農業法人「山館、池内、小館花」株式会社「餌釣」の設立により地域が抱える課題を、ほ場整備と農地集積100%で解決に向かう。  
 地域の課題  
 ・大部分が未整理、排水不良、道路狭小  
 ・高齢化による担い手不足、集落存続危機  
 ○法人化による、大型機械の導入により、農作業の効率化、生産コストの低減を図る。



### 現時点

○4法人はH27年3月成立済み。  
 ○区画整理はH29までに約140haが整備され、大型機械の導入が可能となった。H30で区画整理が全面整備される予定  
 ○えだまめ選果場も稼働を始め、H29は40ha、H30は60haのえだまめを作付け  
 ○えだまめ以外にもアスパラ、にんにく、ブルーベリー等作付面積を拡大中

#### ②加工センターを活用した農産物の産地化と六次産業化への取り組み

○JAの農産物流通加工センターの活用により大規模な産地化を図るとともに、花卉の新品種栽培にもチャレンジし、大規模複合経営を展開。さらに地区の女性部による六次産業化にも取り組む。

○現在は、畑作物にシフトしているため花卉の栽培拡大はない。  
 ○JAで、加工しているえだまめペーストの原料を供給している。



#### ③付加価値の高い米づくり

○比内地鶏の鶏糞入り有機肥料を使用した特別栽培米を収穫し、循環型で付加価値の高いおいしい米づくりを実施。

○現在は小規模ながら動き出している。土壌に鶏糞と十和田石を混合し、行っている。今後は、「大館産こまち」ブランドとして関東圏への出荷を検討中。

#### ④地域資源を活用した多角化への挑戦

○地区の女性部を中心としたスイーツコンテスト、法人による観光農園、地場産食材の学校給食提供、修学旅行生受け入れによるグリーンツーリズムの推進など、地域の活性化につなげる活動に挑戦。

○現在は、山館区域の女性部がイベント等へ赴き活動している。区画整理が全面積できた段階で枠組みを考えたい。  
 ○幼稚園への食材提供から始めている。小学校への提供は今後も検討したい。

#### ⑤“構想”から“実現”まで

○採択前の先進地見学で訪れた法人「たねっこ」を見学して意識改革。  
 ○採択年度に中間管理機構を利用し、従前地での集積が加速的に進んだ事により、法人活動が順調にしている。  
 ○採択後に園芸メガ団地の指定を受けたことで、さらに励みになっている。  
 ○4法人が同じ方向を向くために、何度も話し合いを行い作物を決定。意欲の醸造が一番。  
 ○新規事業への参加の際は、不安もあったが結果的にうまくいっている。何事もまず始めてみる(タイミングが大切)



ブルーベリー観光農園



学校給食への食材提供

## 大館市上川沿地区

### 4 法人連携による枝豆団地等の連携による産地育成

#### ●メガ団地等大規模園芸拠点整備事業の取組

##### (1) 事業の目的

メガ団地等大規模園芸拠点整備事業を活用し、枝豆集出荷貯蔵施設、乗用型枝豆収穫機、光センサー高精度選別機等の最新機械を導入し、4法人が連携して機械作業の効率化を図ることで、少数人員での経営面積の拡大が可能となり、最終年度には60haの作付増加、販売額1億円以上の増加を目指すものである。

加えて、保有労働力の有効活用やほ場のブロックローテーションを図るため、新規にアスパラガスとにんにくの栽培にも取り組んでいる。

##### (2) 事業実施主体、営農主体の概要等

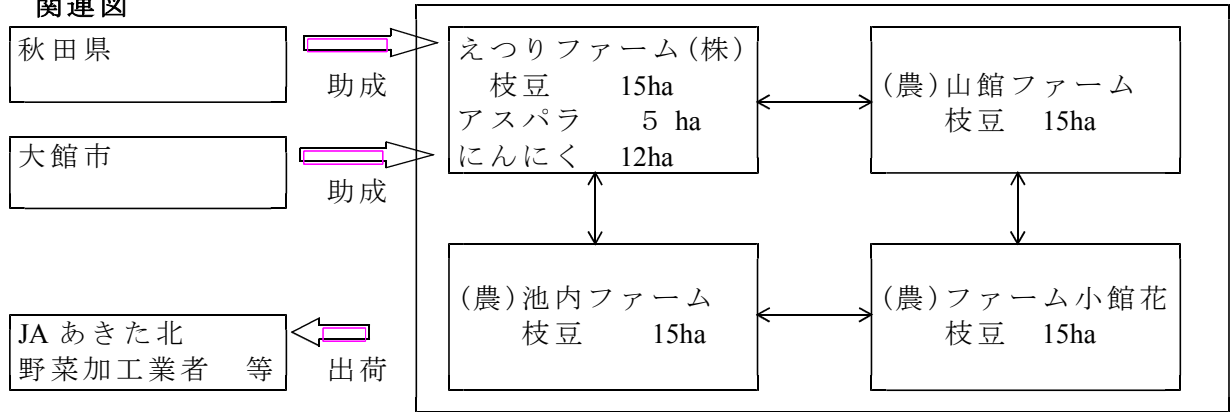
#### ア 事業実施主体

名 称	えつりファーム株式会社
代 表 者	代表取締役 兜森 和雄
主たる事務所の所在地	大館市池内字中台 76
事業実施場所(住所)	大館市餌釣
設 立 年 月 日	平成 27 年 4 月 1 日
概 要	えつりファーム(株)が所在する上川沿地区は、大館市の中央部、比内地域(旧比内町)に隣接し、米代川右岸沿いに位置する。地区の基盤整備を契機に法人(えつりファーム(株))を設立。経営面積は59.5ha。農地中間管理機構を通じて法人へ集積。
構 成 員 数	6名(出資者)

#### イ 営農主体の概要

No	組織名・農家タイプ	市町村	営農形態・作目
1	えつりファーム(株)	大館市	水稲(主食用米・飼料用米)+枝豆 +アスパラガス+にんにく
2	(農)山館ファーム	〃	水稲(主食用米・飼料用米)+枝豆
3	(農)池内ファーム	〃	水稲(主食用米・飼料用米)+枝豆
4	(農)ファーム小館花	〃	水稲(主食用米・飼料用米)+枝豆

ウ 関連図



(3) 整備概要

年 度	主な整備内容
H 28 実績	集出荷貯蔵施設（枝豆選別調製施設） ・木造平屋 1 棟 495.2 m <sup>2</sup> (年間処理量 276 t) 播種機 1 台、えだまめコンバイン 1 台等
H 29 実績	・洗浄機 1 台、脱水機 1 台、精選別機 2 台、 予冷库 1 室、ハイクリブーム 1 台、 中耕ディスクカルチ 2 台 等



● 農地について

枝豆は、土地利用型品目であり、かつ連作障害の発生しやすい作物である事から、ブロックローテーションを行いつつ将来的に集積することとして、大館市農業委員会等の協力を得ながら、事業によって整備した枝豆集出荷貯蔵施設を中心に集積を続ける予定である。



# 平成30年度の作物作付け計画

○枝豆	60ha
○アスパラ	5ha
○にんにく	10ha
○ブルーベリー	2ha



# 地域の状況

